

有峰第二発電所の出力変更について

平成30年3月9日
北陸電力株式会社

当社は、有峰第二発電所の発電所出力を3,000キロワット増加させたことから、本日（3月9日）、電気事業法の規定^{※1}に基づき、発電事業変更届出書を経済産業大臣へ届出しましたので、お知らせします。

当社は、電源の低炭素化の取組みの一つとして、水力発電電力量の拡大を目指し、既設設備の改修等に積極的に取り組んでおります。

この度、常願寺川水系の有峰第二発電所において、水車の設備改修（水車羽根車の取替）に伴う性能確認試験結果により、発電所出力を3,000キロワット増加できることを確認したことから、下記のとおり出力を変更しました。

当社は、引き続き再生可能エネルギーの導入拡大などにより、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

記

発電所名	最大出力	年間発電電力量（増加量）	CO ₂ 排出量削減効果 ^{※3}
ありみねだいに 有峰第二発電所 （富山県富山市中地山）	123,000kW (3,000kW増)	年間約300万kWh ^{※2}	年間約1,770トン

以上

別紙：「有峰第二発電所の概要」

※1 電気事業法の規定（第27条の27第3項）

発電事業の届出事項に変更があった場合、経済産業大臣への届出が必要であることを規定

※2 一般家庭約960世帯の年間使用電力量に相当

※3 当社2016年度調整後CO₂排出係数を使用して試算

有峰第二発電所の概要



有峰第二発電所 全景



有峰第二発電所 水車羽根車（ランナ）

	発電所諸元
運転開始年月	昭和56年7月
水車型式	立軸単輪単流渦巻フランス水車
発電機型式	立軸三相交流同期発電機
主機台数	1台
発電所出力	123,000kW (3,000kW増)
増分発電電力量	約300万kWh/年

<参考>

今回の出力増により2007年度対比で累計約1.48億kWh/年の水力発電電力量増加
(目標:2025年度までに発電電力量2.4億kWh/年の拡大(2007年度対比))